

【令和3年度基本方針】

わが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、国内の経済活動や国民生活に深刻な影響を受けており、感染症の世界的な再拡大による更なる景気の下振れが危惧されております。

農業面においては、農業者の高齢化等に伴う農業生産基盤の弱体化が進む中、新型コロナウイルス感染症の拡大による外食・インバウンド需要の低迷などが要因で農畜産物価格が下落しており、加えて、度重なる自然災害の発生で農産物や農業関連施設に大きな被害が出ていることから、引き続き、農家組合員への支援対策に取り組む必要があります。

国際貿易交渉を巡る情勢については、TPPIや日欧EPA等の大型協定が相次いで発効する中、日英貿易交渉やRCEPが大筋合意しており、農業への影響について、引き続き、注視していく必要があります。

農協改革については、信用事業をはじめとして組合を取り巻く環境が厳しさを増す中、総合事業体としての機能を発揮していくため、将来の見通しに焦点をあてた「持続可能な収益性・将来にわたる健全性」への取り組みが課題として挙げられております。

また、准組合員事業利用規制については、「組合員の結集力強化」が、

組織・事業基盤の維持・強化に繋がることから、正・准組合員の協同による意思反映・運営参画を明確化し、JAへの理解と評価の向上に取り組む必要があります。このようなことから、令和3年度は、あらゆる環境変化に適時的確に対応した「不断の自己改革」と、将来にわたる総合事業体としての経営基盤の確立・強化により、地域農業を支える「農協経営の持続性の確保」へ着実な実践を図り、あわせて、SDGsに貢献する取り組みを連動させ、中期3カ年計画の最終年度として3つの重点事項を主眼に取り組みをすすめます。

大会スローガン

企画管理部

総合事業体として持続可能な経営基盤の確立・強化に取り組もう

経済部

持続可能な農業生産の実現に向け、戦略的産地づくりと安心・安全な農産物の提供に取り組もう

支援センター

青色申告の実践により経営実態の見える化をはかり、営農改善に取り組もう

畜産部

繁殖雌牛の増頭による生産基盤の維持拡大と、魅力ある商品性の高い子牛生産に取り組もう

金融部・共済部

JAバンク・JA共済の有効利用で暮らしの安心・安全・充実した生涯設計を確立しよう

生活部

地域の暮らしと生活を支える活動の展開により、安心して暮らせる地域づくりを実現しよう

『重点事項』

- ①事業戦略の策定・実践を通じた目標事業利益の確保
- ②経営・営農企画機能の高度化による総合事業体としての機能の発揮
- ③財務・経営基準、県域事業方針の実現に向けた実践計画の策定

【総代会各部門受賞者の紹介】

「米の部」

高尾野 智浩 様(西之表市 古田)

「さとうきびの部」

岩坪 六男 様(南種子町 西之)

「でん粉原料用甘しよの部」

堀江 善徳 様(中種子町 南界)

「青果用さつまいもの部」

八汐 孝信 様(中種子町 野間)

「バレイシヨの部」

川畑 孝博 様(屋久島町 神山)

「豆類の部」

申 承植 様(西之表市 下西)

「茶の部」

西川 幸浩 様(西之表市 榕城)

「花卉の部」

平畑 敏 様(南種子町 平山)

「果樹の部」

田中 勲 様(屋久島町 安房)

「和牛の部」

美原 康幸 様(中種子町 油久)

「肥料の部」

山浦 重夫 様(中種子町 南界)

「飼料の部」

宮脇 幸喜 様(西之表市 榕城)



牡牛座
4/20
～5/20

【全体運】用事は後回しにせず処理するのがトラブル防止の秘訣。テレビやネットでは役立つ情報入手できそう
【健康運】関節を柔らかく保つストレッチを取り入れて
【幸運を呼ぶ食べ物】ツルムラサキ